



# 2018年3月期 第2四半期決算説明会資料

株式会社オプティム

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。



- 2018年3月期 第2四半期決算レビュー
- 2018年3月期 経営方針
- 2018年3月期 第2四半期主要事業進捗
- 2018年3月期 通期業績見通し



# 2018年3月期 第2四半期決算レビュー



創業来18期連続となる過去最高売上高に向けて期初計画通り好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robot分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を実施

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期 実績	実績 前年比	2018年3月期 通期予想
売上高	1,577	1,792	13.6%	4,000
営業利益	370	260	△29.5%	1～800
経常利益	367	258	△29.5%	1～800
純利益	175	150	△14.5%	0.62～496

前回計画より  
変更なし



### ■ 売上成長率及び利益率について

・ 当社の売り上げ構成は、ストック型のライセンス収入とフロー型のカスタマイズ収入に分かれており、その構成比は、大凡、ライセンス収入：カスタマイズ収入=8：2となっております。

・ 売上高実績として、前年同期比で見ますと113%増となっております、成長率が鈍化している様にも見えますが、これは、前年に比してフロー収入が減少したことによる一過性のものであり、ストック型のライセンス収入だけで見れば130%近い成長率を示しております。フロー収入についても計画通りに推移しており、着地数値への影響はありません。

・ 営業利益実績として、前年同期比で29.5%減となっております。これは、戦略的に開発投資に注力するという期初からの計画通りであり、順調に開発人員（工数）の確保が進んでいる結果であります。引き続き、第4次産業革命において中心的な役割を担える企業となるべく、開発投資に注力してまいります。



# 2018年3月期 経営方針



## 第4次産業革命に向け、「OPTiM Cloud IoT OS」で 国内デファクトスタンダードを獲得し第4次産業革命を 本格的にリードする企業を引き続き目指してまいります。

そのために IoT/AI/Robot分野で昨年度以上の積極的な事業展開、及び、集中投資を行い、必要な事業開発を進めてまいります。

Cloud IoT OSは、あらゆる人に直感的なユーザ体験  
“IoT端末の制御・データ解析・AI・クラウドサービスとの連携”  
を提供するプラットフォームです



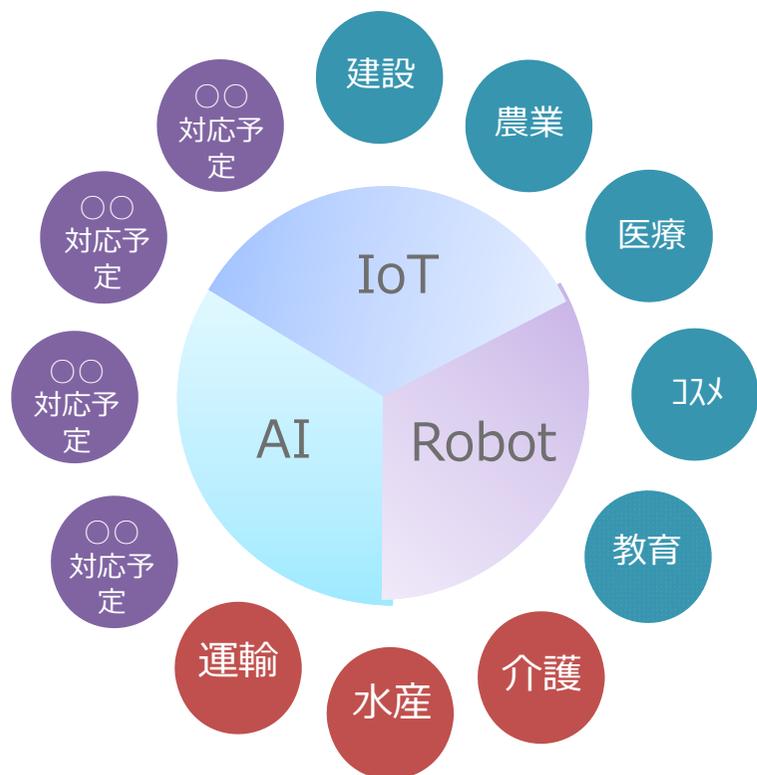
OPTiM CLOUD IoT OS



## OPTiM Cloud IoT OSに対応した**新14サービス**を CEATEC・農業Expoで一挙発表！

名称	概要
AI Predictive Maintenance Service	機器故障などの事前検知を行う、AI予知保全サービス
AI Physical Security Service	異常などを検知するAI監視カメラサービス
AI Voice Analytics Service	音声データのテキスト化や分析を行うAI音声解析サービス
AI Call Center Service	音声解析AIを活用したAIコールセンター支援サービス
Smart Retail Management	AIを用いた空席検知などのマーケティングと防犯対策を実施する店舗管理支援サービス
Smart Field	現場で働く方々を統合的に支援・管理するサービス
Agri Field Manager	圃場情報管理サービス
Agri House Manager	ハウス情報管理サービス
OPTiM Hawk(新固定翼)	固定翼ドローン
OPTiM Agri Drone(新型)	マルチコプタードローン
OPTiM Crawler	陸上走行型ロボット
Agri Assistant	農作業記録・GAP取得支援サービス
アグリブロックチェーン	ブロックチェーンを活用したトレーサビリティプラットフォーム
スマートやさい	OPTiMスマート農業で栽培された野菜

弊社協力パートナーを通じて、随時提供開始中！



## IoT市場、AI/IoT/Robot個別市場概況

分類	市場概況予想
農林水産業	農業産業：約90兆円
建設	建設産業：約48兆円 測量：200億円 土木コンサル：2,516億円
医療（AI・遠隔診療・在宅医療）	医療産業：約40兆円 遠隔診療：192億円 医療、ライフサイエンス：500億円
AI/IoT/Robot個別市場概況	2020年予想
IoT OS PaaS 市場	2,020億円
異常予兆検知市場	1,680億円
フィジカルセキュリティ市場	2,015億円
コールセンター市場	730億円
飲食店マーケ市場	1,200億円

AI（人工知能）の関連市場は、2020年には23.6兆円、2030年には86.9兆円にも及ぶとの調査結果もあり、実用化に向けた本格活用が進んでいる

出典：EY総合研究所調べ

出典：日本総研「スマート農業が実現する新たな農業の姿」、シードプランニング「農業IT化・スマート農業の現状と将来展望 農業IT化レポート：2016年版」、富士キメラ「2016 人工知能ビジネス総調査」等を参考に当社にて作成



# 2018年3月期 第2四半期主要事業進捗

## MDM・PC管理サービス「Optimal Biz」、 IDC Japan調査の2016年国内EMMソリューション市場売上額シェアにてNo.1を獲得

“国内EMMソリューション市場における  
リーダーのポジションを確実なものとしている”  
とIDC Japanが評価



Optimal Biz  
国内エンタープライズモビリティ管理ソリューション市場  
ベンダー別売上額売上額シェア 2016年



国内EMMソリューション  
市場売上額シェア  
**No.1** を獲得

複数主要調査機関からNo.1を獲得



2015  
国内エンタープライズモビリティ管理  
ソリューション市場シェア  
ベンダー別売上額  
**No.1**  
IDC Japan



2015  
PC資産管理 モバイル管理市場  
マーケティング分析  
6部門  
**No.1**  
テクノ・システム・リサーチ



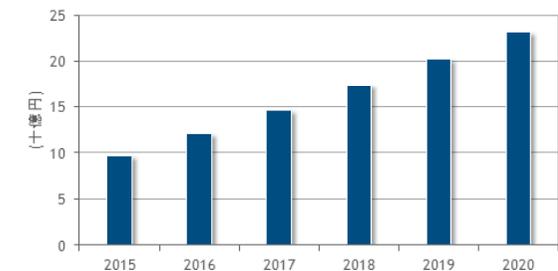
2016  
ネットワークセキュリティ  
ビジネス調査総覧  
2部門  
**No.1**  
富士キメラ総研



2016  
コラボ・コンテンツ  
モバイル市場展望  
15部門  
**No.1**  
ミック経済研究所

OPTiMのMDM/EMMサービスは、  
2015～2020年のEMM年間平均成長率（平均  
19.0%）を大きく上回って成長継続中

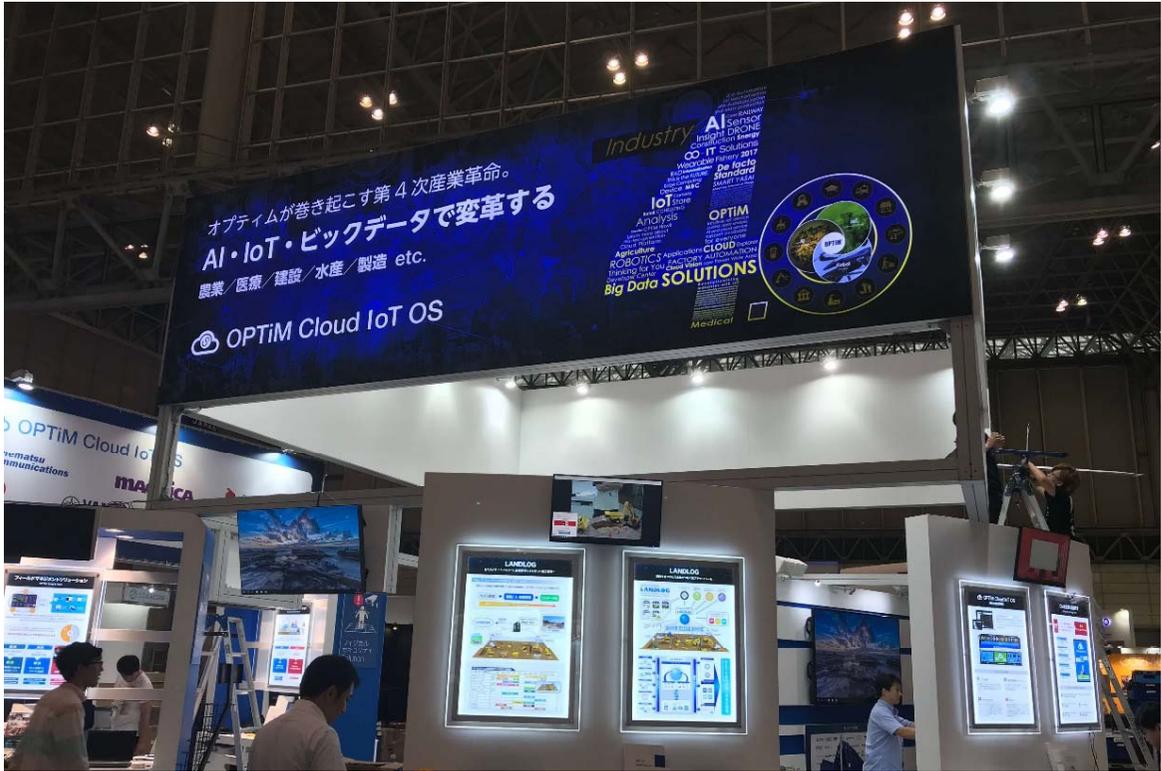
2015年～2020年の年間平均成長率は19.0%、2019年には  
200億円を超え、2020年には232億円市場規模に達する



出典： <http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20160927Apr.html>



# CEATEC JAPAN 2017



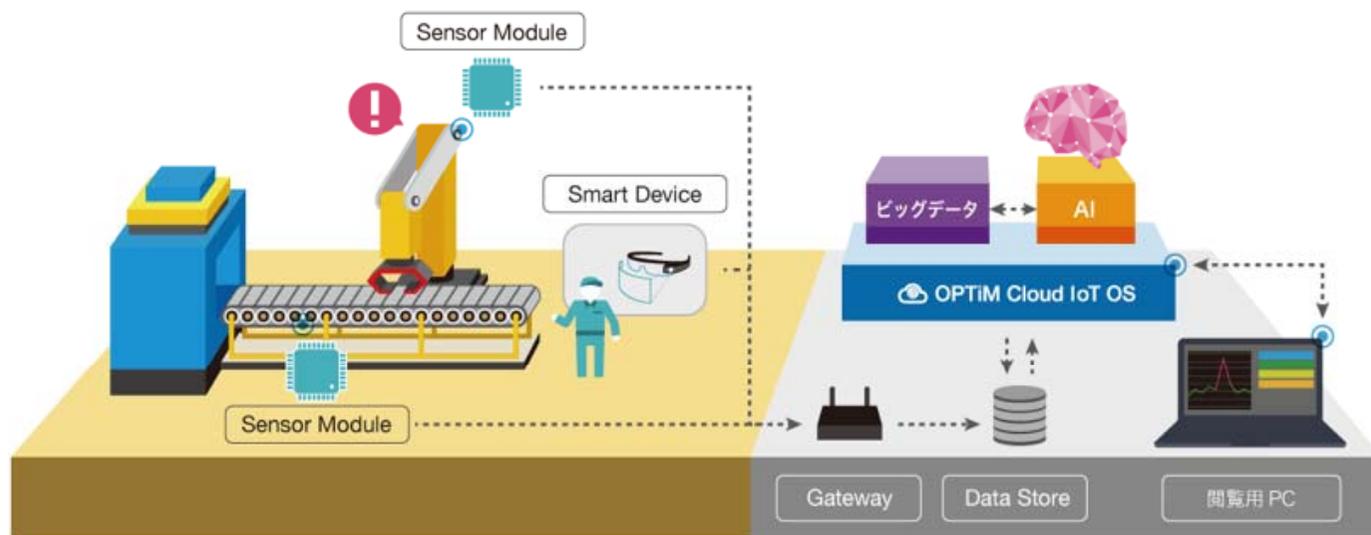
各種産業・業界の課題を解決する最新 AI・IoT製品紹介・事例紹介・デモンストラーションを実施



## AI・IoTプラットフォームサービス「OPTiM Cloud IoT OS」を活用した新サービスを一挙発表

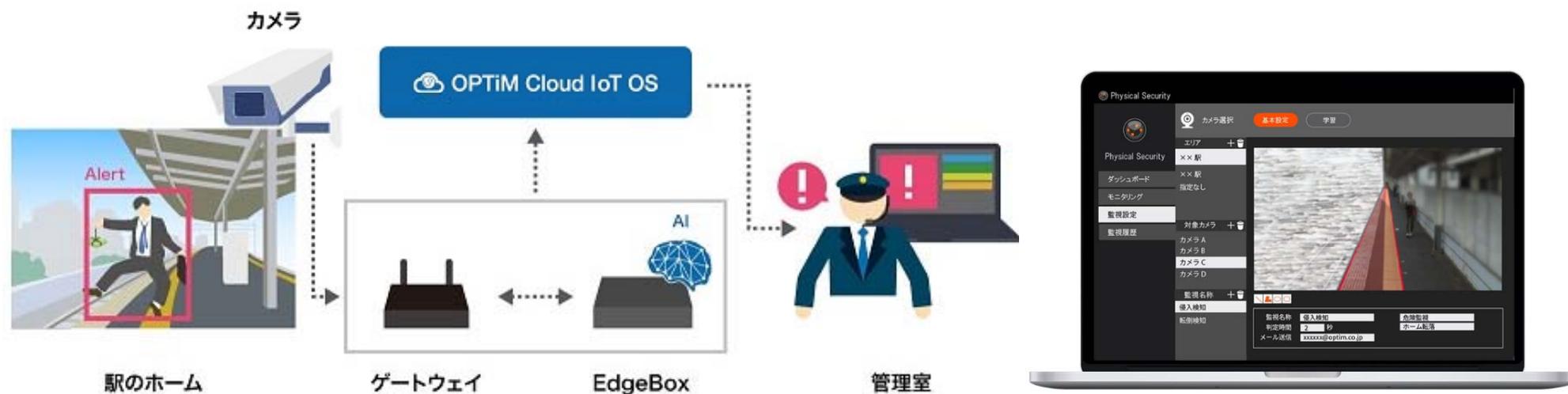


## 機器故障などの事前検知を行う、AI予知保全サービス「AI Predictive Maintenance Service」を発表



工場等の設備機器から数値データを「OPTiM Cloud IoT OS」に収集・蓄積し、機器の状態を監視。蓄積したデータをAIが分析することで、機器の異常の早期発見や、適切なメンテナンス時期を把握することが可能となり、設備の安全性の向上やメンテナンスコストの削減に寄与。

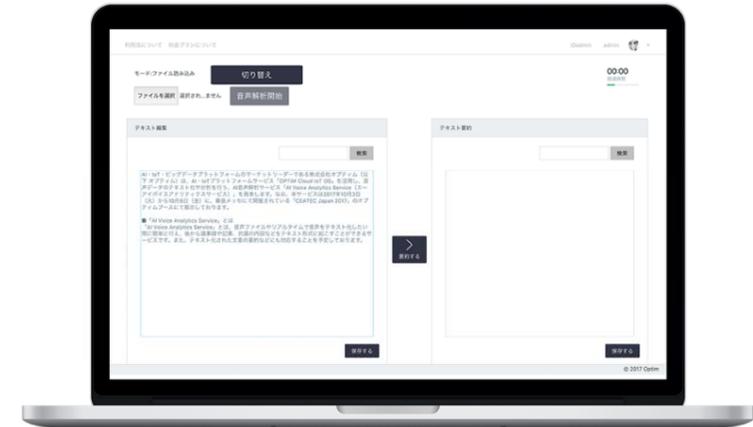
## 異常などを検知するAI監視カメラサービス 「AI Physical Security Service」を発表



ネットワークカメラなどで撮影されている映像をAIがリアルタイムで監視し、異常を検知した際にアラート表示をしたり、管理者へアラートメール送信を行うなど、監視の負担を軽減することが可能。

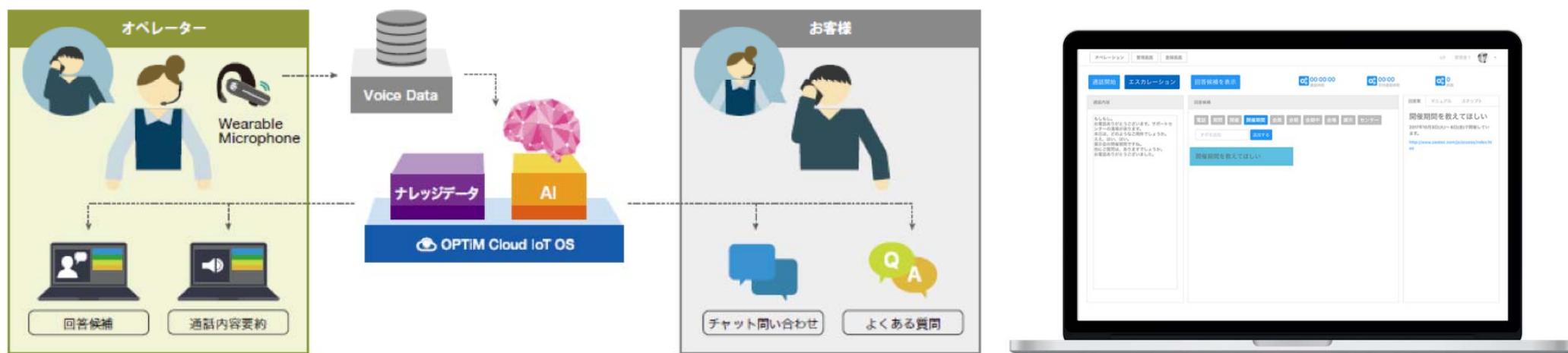


# 音声データのテキスト化や分析を行うAI音声解析サービス「AI Voice Analytics Service」を発表



音声ファイルやリアルタイムで音声をテキスト化したい際に簡単に行え、後から議事録や記事、抗議の内容などをテキスト形式に起こすことができるサービス。また、テキスト化された文章の要約などにも対応することを予定。

## 音声解析AIを活用したAIコールセンター支援サービス 「AI Call Center Service」を発表



お客様との会話をテキストに変換してデータを蓄積、お問い合わせに対する回答候補をオペレーターへ提示。またお客様への回答を蓄積し、そのデータからQ&A表を自動生成したり、チャットでの問い合わせに対して、AIが自動応答する機能を提供。



# AIを用いた空席検知などのマーケティングと防犯対策を実施する 店舗管理支援サービス「Smart Retail Management」を発表

## 来店者分析

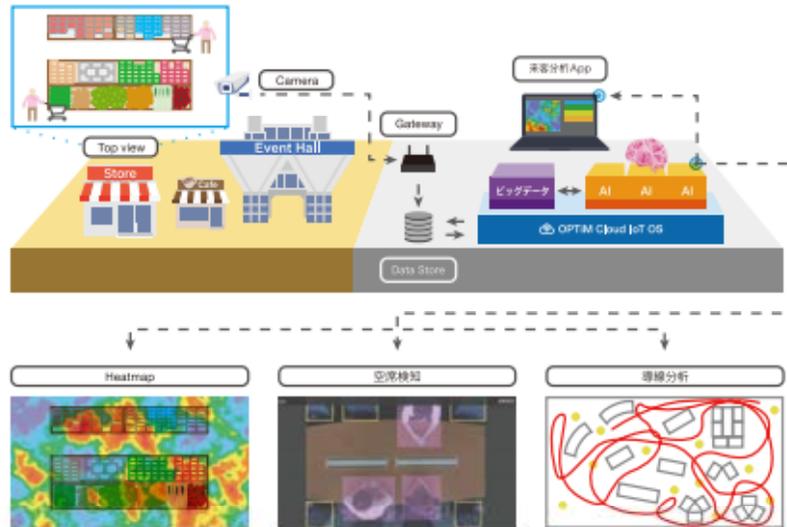
店舗出入口や店内のカメラを利用して来店者数カウント、導線分析を行います。

## 空席検知

テーブル、イス、人物を判別し店内の空席情報を通知します。

## 店内分析

お困りのお客様や挙動不審の人物を検知し、スタッフ対応をサポートします。



店舗スタッフでは把握しきれない情報を「OPTiM Cloud IoT OS」で収集し、AIによって分析。お客様は難しい予備知識を学習する必要がないだけでなく、少ない投資で顧客満足度や店舗稼働率を向上させ、最適な店舗運営を実現することが可能。

## 現場で働く方々を統合的に支援・管理するサービス 「Smart Field」を発表



スマートグラス、カメラ、ウェアラブルデバイスなどのIoTデバイスを活用し、遠隔作業支援や作業記録・タスク管理、AI解析によって働く方を強力にサポートするソリューションを提供。



AI・IoT・ビッグデータを農業に活用する新しいソリューション、  
「OPTiM スマート農業ソリューション」を一挙発表

1 圃場情報管理サービス



Agri Field Manager

2 ハウス情報管理サービス



Agri House Manager

3 ロボティクスサービス



OPTiM Drone

4 農作業記録・  
GAP取得支援サービス



Agri Assistant

5 OPTiMスマート農業で  
栽培された野菜



スマートやさい®

6 ブロックチェーンを活用した  
トレーサビリティプラットフォーム



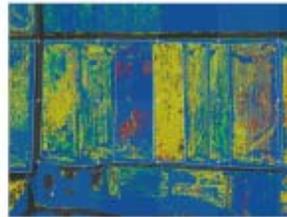
アグリブロックチェーン



## AIの画像解析

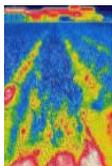


## 植生分析(NDVI)



ドローンによる画像や、マルチスペクトルカメラを用いたNDVI、様々なフィールドのセンサー情報を融合し、高度な生育分析を実現。また、世界初となるドローン画像によるディープラーニング技術を用いた病害虫発見を実現

ディープラーニング技術を用いた害虫の検知に成功。早期に害虫を検知し、ピンポイントで農薬散布を実現





ハウス内に設置された大量センサーの多変量解析と、クローラーの両側面に設置したスマートフォンで連続撮影した位置情報を含む画像データの解析から、  
トマト収量予測（個数カウント、収穫適期）を行う





### 固定翼ドローン OPTiM Hawk

世界初となるLPWA・LTE搭載の固定翼ドローン。航続1時間&30kmを実現し、マルチコプター型ドローンでは実現できない範囲のデジタルスキャンを実現



### マルチコプタードローン OPTiM Agri Drone

オプティム独自設計フレームにより、実作業に必要な様々なカメラの撮像を可能にしたマルチコプタードローン。高いカスタマイズ性とメンテナンス性を両立



### 陸上走行型ロボット OPTiM Crawler

農地やハウス内の生育管理を効率化する、陸上走行型ドローン。生育観測が可能な様々なカメラデバイスを搭載し、自律運航が可能



自動音声入力（イヤラブル端末等様々なデバイスに対応）により、簡単に農作業記録を実践。GAP取得に必要な農作業情報をスマートフォンやタブレット、パソコン、どこからでも共有・確認することが可能



## 日本GAP協会推奨システム

### 施肥管理(土壌管理)

土壌診断の結果を踏まえた肥料の適正な施用や、都道府県の施肥基準やJAの栽培層等で示している施肥量、施肥方法等に則した施肥を実施。

ドローンやセンサーからの  
土壌分析

肥料設計情報

### 農業管理

無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材の使用禁止。農薬の使用残が発生しないように必要な量だけを秤量して散布液を調整。

バーコード読み取り/  
自動DB参照/農薬残量取得

農業情報の自動取り込み



### 情報の記録・保管

圃場の位置、面積等に係る記録を作成し保存。  
農薬や肥料の使用に関する内容を記録し保存。  
出荷に関する記録の保存。

音声入力/作業記録/  
画像

作業ログ情報

### 病害管理

発生予察情報の利用などにより病害虫の発生状況を把握した上での防除を実施。

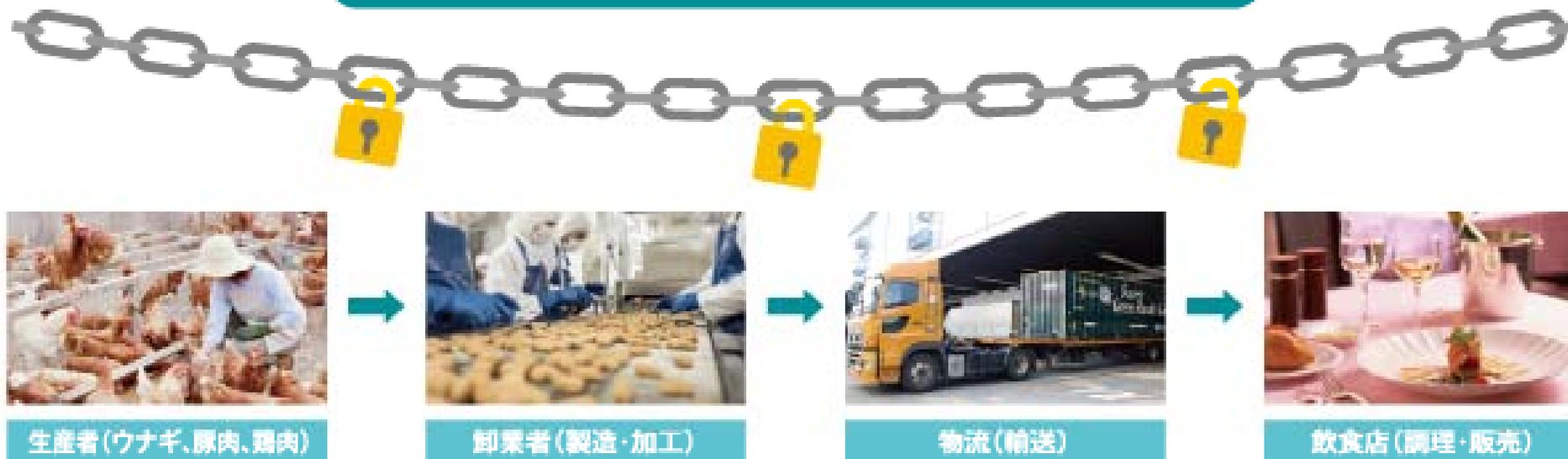
ドローン空撮画像から  
病害虫の発生予測

病害情報の自動取り込み



## アグリトレーサビリティ : ブロックチェーンを活用した トレーサビリティプラットフォーム

### ブロックチェーンによる分散型台帳システムとリンク付



### フードチェーンの流通経路

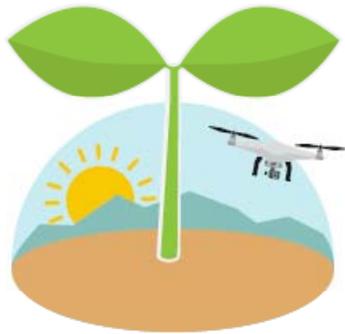
生育作業履歴、流通履歴、資材調達履歴などのトレーサビリティを最新の技術であるブロックチェーンを活用した分散型DBで共有管理することにより、「オープン」、「高効率」、「高信頼」なサプライチェーンを実現

特許取得済み : 6123039

生産物の各プロセスの履歴を記録して、履歴に応じたコンテンツを提供するシステム



「スマートやさい®」  
はIoTにより生育過程がトレースされ  
た安心・安全なやさいのブランド

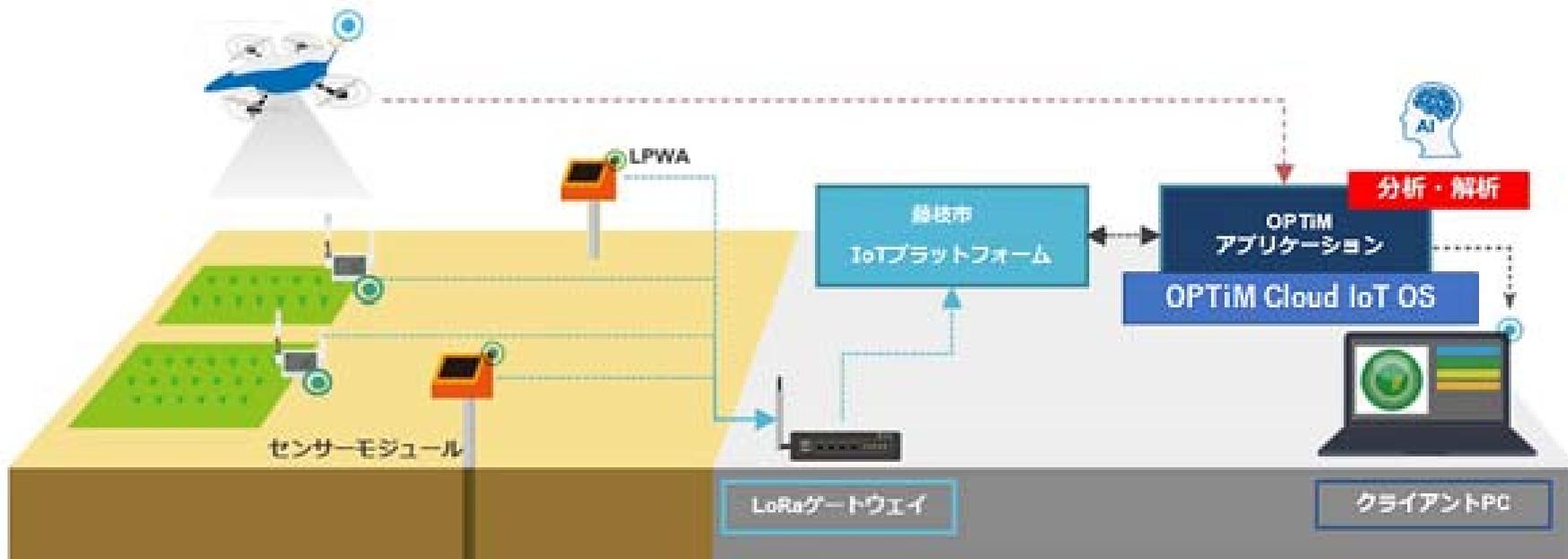


IoT のちからで、あんしん・安全なお野菜を食卓へ  
スマートやさい





## オプティムと藤枝市、AI・IoT技術を活用した 精密農業の取り組みを開始 「圃場管理支援事業」にて「OPTiM Cloud IoT OS」を活用



静岡県藤枝市が取り組んでいる「IoT（LPWA）プラットフォームを活用した公共テーマ型実証実験事業」に選定。降水量、気温、日照等の圃場データを可視化するとともに、気象、土壌などの環境データを分析



**KOMATSU**

**OPTiM**

**docomo**

**SAP**

## 2017/10/5 株式会社ランドログ設立！

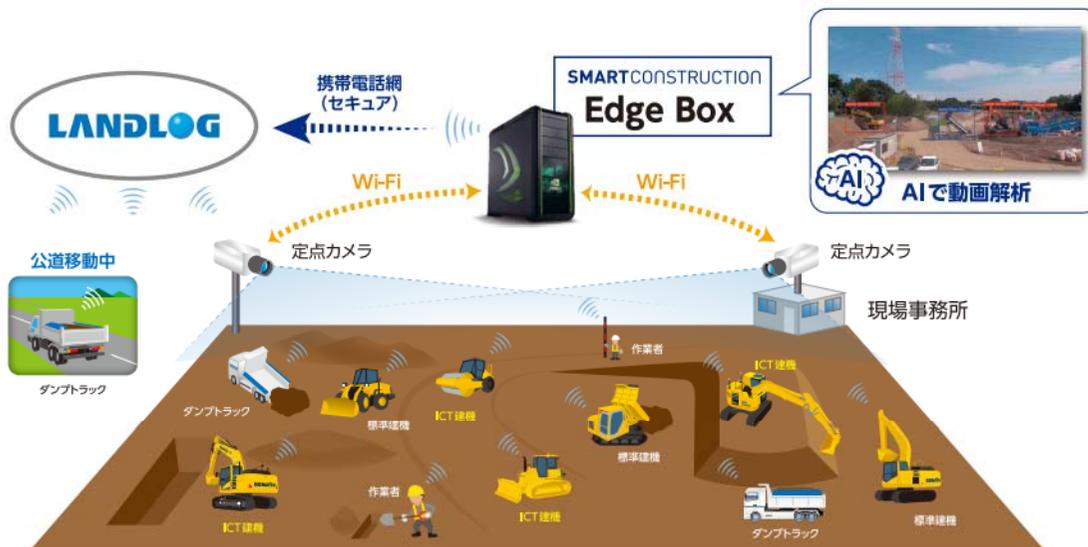
### 事業内容：

建設生産プロセスに関する各種データ等の収集、  
編集及び蓄積等を行うプラットフォームの企画、開発、運用、及び事業化  
建設生産プロセスに関する各種データ等の生成、  
解析及び蓄積等を行うデータ生成システムの企画、開発、運用及び事業化

# 日々カメラ ～ リアルタイム動画解析による新しい施工管理を発表

## Edge コンピューティングを用いた“日々”カメラ

現場のカメラ動画から建機や車両、人の動きを自動解析し、そこで起こっている「コト」を記録します。

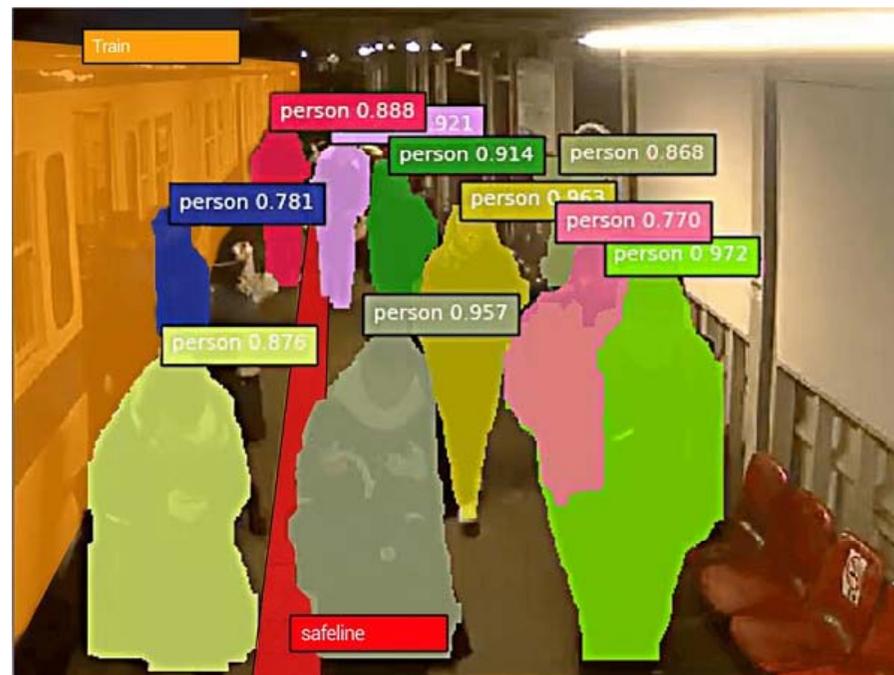
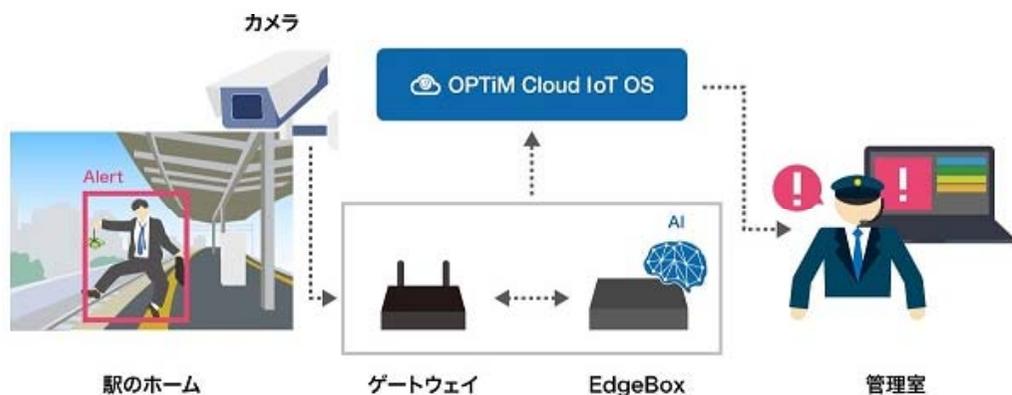


リアルタイム動画解析による施工管理例

×月×日 作業状況	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
油圧ショベル A	ICT	法面成形				法面成形					
油圧ショベル B	ICT	溝掘削		積込							
油圧ショベル C			法面成形				掘削積込				
ブルドーザ A	ICT	掘削・押土	整地								
ホイールローダ A							積				
振動ローラ A	ICT						締固め				
クローラダンプ A			積込・搬送								
ダンプ A							積込・搬送				
ダンプ B									積込・搬送		
ダンプ C					公道移動中		積込・搬送				
作業員 A		資材移動					整地補助				
作業員 B			検査測量						検査測量		



## AI（人工知能）を用いて異常を検知、 JR九州の駅をご利用になるお客様のより高い安全性向上を目的とした 「AI Physical Security Service」の実証実験を開始



駅に設置のカメラから人、電車、黄色い線（線上ブロック）を解析したイメージ

JR九州香椎線和白駅、筑豊本線二島駅において実施

**TOKAIコミュニケーションズが提供する  
会員向けサポートサービス「FOR YOU（フォーユー）」にて、  
遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」の提供開始**



「Optimal Second Sight」を利用することにより、オペレーターはお客様のスマートフォンやタブレットのカメラで映している映像をリアルタイムで確認することができるため、遠隔からIoT機器や各種家電のきめ細かなサポートを円滑に行うことが可能



その他サービス：タブホ / 800種類以上の人気雑誌が読み放題に！

大洋図書と業務提携



ネスレ日本とコラボし、「カップ自動販売機用 ネスカフェ ゴールドブレンド 50周年記念キャンペーン」に提供

特急サンダーバード号のグリーン車特典サービスにて提供開始



ケイ・オプティコム、eo、mineoのお客さま向けに、「雑誌読み放題 タブホ」として提供開始



日本初、国立大学内に上場企業本店を移転  
佐賀大学内に先端技術と地域が融合したイノベーションの起点、  
OPTiM・イノベーションパークを開園

Welcome to **OPTiM**® Innovation Park  
2017.10.20 START!!  
@SAGA UNIVERSITY HONJO CAMPUS



**OPTiM** Headquarters Building



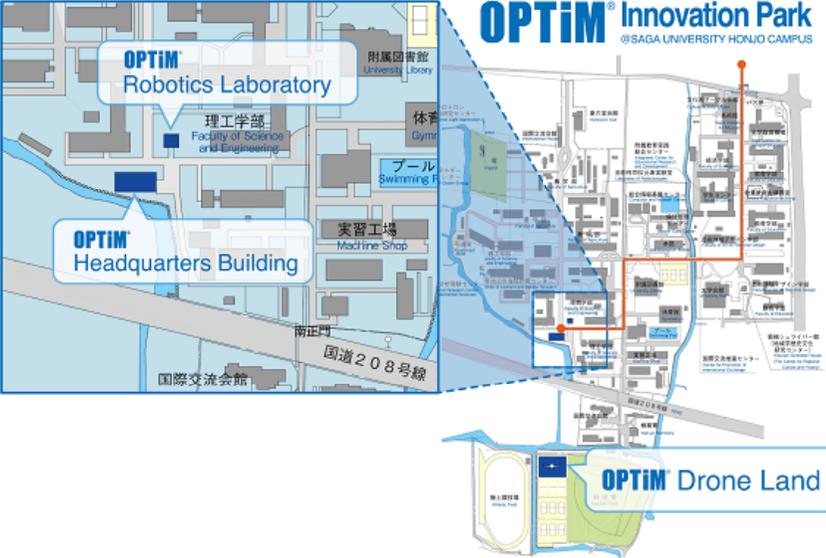
**OPTiM** Cafe 1F



**OPTiM** AI・IoT・Robot Pavilion 3F



**OPTiM** Robotics Laboratory



**OPTiM** Robotics Laboratory  
理工学部 Faculty of Science and Engineering  
附属図書館 University Library  
体育館 Gymnasium  
プール Swimming Pool  
実習工場 Machine Shop  
南正門  
国際交流会館  
国道208号線

**OPTiM** Drone Land

佐賀大学との更なる共同研究を加速させ次世代技術の開発を実施



## テレパシー・グローバルが持つハードウェア開発力及び グローバルマーケティングのノウハウを当社のプラットフォームに 取り込み、AI・IoT・ロボット事業の加速化を図るものです

- Cloud IoT OSは日進月歩で成長を遂げており、農業・建設・医療等幅広い分野で、スマートグラス・ドローン・ホーク・クローラー等、多種多様なハードウェアと連携することで、サービスが急速に拡大を始めています。
- テレパシー・グローバルは、NASDAQ に上場するシリコンバレーの有力ベンチャーキャピタルであるFirsthand Technology Value Fund, Inc. 支援のもと、日米欧におけるスマートグラスやIoTセンサー等、各種IoT関連ハードウェアの開発・導入並びにサービスの立ち上げを幅広く支援してきました。特に企画・開発・設計・調達・保守・運用までを統合的に行う、実用的なIoTサービスの経験・知見に定評があります。



# 2018年3月期 通期業績見通し



(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前年比
売上高	3,314	4,000	120.7%
営業利益	685	1～800	-99.9%～116.8%
経常利益	682	1～800	-99.9%～117.3%
純利益	397	0.62～496	-99.8%～124.7%

- 2018年3月期の業績は、創業来18期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上40億（前年比売上高120.7%）は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年としていきます。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

**OPTiM**

[www.optim.co.jp](http://www.optim.co.jp)

**OPTIM**